様式第1号の2(第2条関係)

(表面)

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ※整理番号 | 第　　　　　号 | ※受付年月日 | ・　　・ | ※提出年月日 | ・　　・ |
| 特別児童扶養手当所得状況届(　　　　　　年分) |
| ①証書記号・番号　梨特第　　　　　　　　号 | ②受給者氏名 | 　 | ③受給者住所 | 　 |
| 　 | ④受給者 | ⑤配偶者 | ⑥扶養義務者 |
| 氏名 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| ⑦控除対象配偶者及び扶養親族の合計数(うち老人扶養親族の合計(受給者については、老人控除対象配偶者、老人扶養親族及び特定扶養親族の合計数)) | 人(　　　　　　人) | 人(　　　　　　人) | 人(　　　　　　人) | 人(　　　　　　人) |
| ⑧⑦以外で前年の12月31日において受給者によって生計を維持していた児童 | 人 | 　 | 　 | 　 |
| ⑨所得額 | 円 | ※　円 | 円 | ※　円 | 円 | ※　円 | 円 | ※　円 |
| 控除 | ⑩障害者(特別障害者を除く)である控除対象配偶者及び扶養親族の数 | 人 | 円 | 人 | 円 | 人 | 円 | 人 | 円 |
| ⑪特別障害者である控除配偶者及び扶養親族の数 | 人 | 円 | 人 | 円 | 人 | 円 | 人 | 円 |
| ⑫障害者・特別障害者・寡婦(寡夫)・寡婦の特例・勤労学生の別 | 障・特障寡・寡特勤 | 円 | 障・特障勤 | 円 | 障・特障寡・寡特勤 | 円 | 障・特障寡・寡特勤 | 円 |
| ⑬ | 　 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 |
| 　 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 |
| ⑭社会保険料等相当額 | 　 | 円 | 　 | 円 | 　 | 円 | 　 | 円 |
| ⑮控除後の所得額 | 円 | 円 | 円 | 円 |
| ⑯本年8月1日における支給対象障害児の状況 | 障害児氏名 | 続柄 | 生年月日 | 同居・別居の別 | 在学学校名等 | 学年 |
| 　 | 　 | ・　　・ | 同・別 | 　 | 　 |
| 　 | 　 | ・　　・ | 同・別 | 　 | 　 |
| 　 | 　 | ・　　・ | 同・別 | 　 | 　 |
| 　上記のとおり、所得状況を届け出ます。　　　　　　年　　月　　日氏名　　　　　　　　　　㊞　　　　　　　　　様 |
| ※審査 | 　 |

◎　裏面の注意をよく読んでから記入してください。

◎　※の欄は記入する必要がありません。

(裏面)

注意

　1　⑥の欄は、あなたと生計を同じくしている(又はあなたが養育者である場合はあなたの生計を維持している)あなたの父母、祖父母、子、孫等の直系血族と兄弟姉妹があるときに記入してください。

　2　⑦の欄は、地方税法に定める控除対象配偶者、扶養親族(以下「扶養親族等」といいます。)の合計数を記入してください。

　　なお、地方税法に定める老人扶養親族(受給者については、同法に定める老人控除対象配偶者、老人扶養親族及び特定扶養親族)があるときは、その人数を(　)内に再掲してください。

　3　⑧の欄の「児童」とは、地方税法に定める扶養親族以外の者(18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者をいいます。)又は障害の状態にある20歳未満の者をいいます。

　4　⑨の欄は、前年の所得について、都道府県民税の総所得金額、退職所得金額、山林所得金額、土地等に係る事業所得等の金額、長期・短期譲渡所得金額及び先物取引に係る雑所得等の金額の合計額を記入してください。

　5　⑩及び⑪の欄は、扶養親族等について該当する人の数を記入し、⑫の欄は、あなたが該当するときに、該当する文字を○で囲んでください。

　6　⑬の欄は、前年の所得について、地方税法に定める雑損控除、医療費控除、小規模企業共済等掛金控除又は配偶者特別控除等を受けたときに、それぞれの項目及び当該控除額等を記入してください。

　7　本年1月2日以後現住所に転入された方は、⑦から⑬までの欄に記入した事項について、前の住所地の市区町村長の証明書を添えて出してください。